

器 55 医療用洗浄器
一般医療機器 器具除染用洗浄器 (JMDN コード 35424000)

ウォッシャーディスインフェクター Uniclean PL II (UPLII 15)

【警告】

- ・ 洗浄槽、被洗浄物は高温になるので火傷に注意すること。
- ・ 搬送カート使用時は、本体に確実に接続しロックすること。
- ・ バーコードリーダーのレーザー光を凝視しないこと。
- ・ 洗浄剤は、必ず製造元、供給元によりバリデーションされた洗浄剤を使用すること。

【禁忌・禁止】

- ・ 異なる洗浄剤を混合して使用しないこと。
- ・ 洗浄剤の種類により接続先が異なるため、接続を間違えないこと。

【形状・構造及び原理等】

<外観>

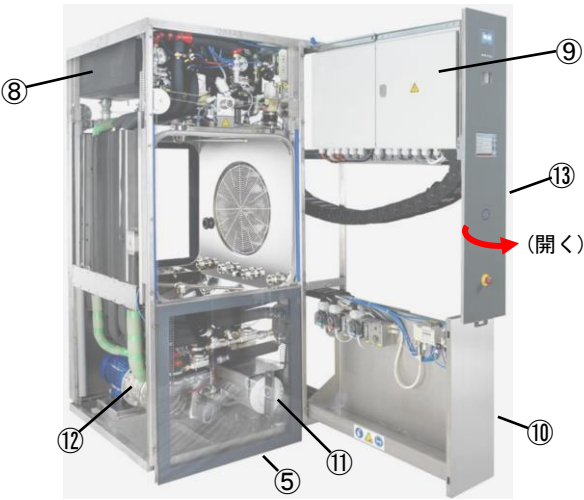
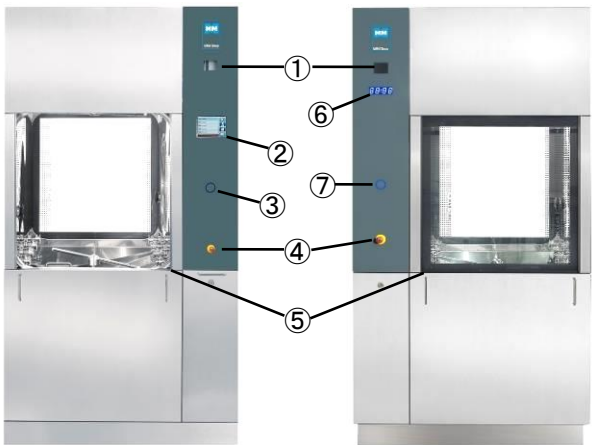
【UPLII 15】

本体

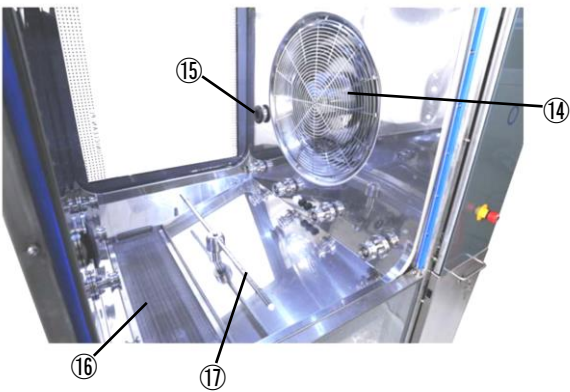


(投入側)

(取出し側)



洗浄槽



①	機械番号パネル(識別用)
②	カラータッチディスプレイ
③	電源ボタン
④	緊急停止ボタン
⑤	ドア(下方スライド式)
⑥	残時間モニター
⑦	ドアボタン
⑧	予熱タンク
⑨	制御キャビネット(引出式)
⑩	洗浄剤キャビネット(引出式)
⑪	HEPA フィルター
⑫	循環ポンプ
⑬	制御パネル
⑭	乾燥ファン
⑮	ラックコネクター
⑯	槽内フィルター
⑰	スプレーアーム(回転式)

**

※取出し側に⑤ドアが無い、片ドアタイプもある。

取扱説明書を必ずご参照ください。

<本体寸法>

本体外寸: W1000 x D950 x H1950 mm

* 槽内寸法: W667xD828※xH695mm

挿入高: 813 mm

* ※奥行きはドアシール拡張前の寸法です。ドアシールが拡張することにより有効寸法は828mmより長くなります。

<構成>

本品は、本体及び以下のアクセサリ(ラック等)、オプションからなり、これらを組み合わせてシステムとして使用される。

* **アクセサリ・オプション**



4 段ラック

MIS 4 段ラック

搬送カート

品名	製品番号
搬送カート UPL15	010109308
自動投入コンベア 1R	010109294
自動取出しコンベア 1R	010109295
自動投入コンベア 2R	010109296
自動取出しコンベア 2R	010109297
Uniclean PL II ラックリターン	010119924
自動スライド扉 750	010126254
手動スライド扉 750	010125430
1 段ラック UPL15	010109310
2 段ラック UPL15	010125430
2 段ラック S UPL15	010109312
3 段ラック UPL15	010109313
4 段ラック UPL15	010109314
5 段ラック UPL15	010109315
MIS 4 段ラック	010109330
MIS 3 段ラック	010127199
MIS ラック	010488054
MIS モジュール 2 段+2 段ラック	010109320
ロボット器具用ラック	010488053

滅菌コンテナハーフラック	010109327
滅菌コンテナラック	010109328
麻酔ドラムラック	010109332
ボトルラック	010109336
哺乳瓶用ラック	010109339
プロトコール印刷(A4):インクジェットプリンタ 1 台	010059570
プロトコール印刷(A4):ネットワーク対応インクジェットプリンタ 1-15 台	010042949
プロトコール印刷(A4):ネットワーク対応レーザープリンタ 1-15 台	010042128

<電氣的定格及び質量>

機種名	品番	ヒーター	質量	**ドア
15-2 EL 200V/50Hz	010506102	電気	380 kg	両ドア
15-2 EL 200V/60Hz	010506104	電気	380 kg	両ドア
15-2 FD 200V/50Hz	010488950	蒸気	380 kg	両ドア
15-2 FD 200V/60Hz	010488954	蒸気	380 kg	両ドア
** 15-1 FD 200V/60Hz	010597974	蒸気	380 kg	片ドア
15-2 EL/FD 200V/50Hz	010506103	電気/蒸気	390 kg	両ドア
15-2 EL/FD 200V/60Hz	010506105	電気/蒸気	390 kg	両ドア

電源電圧: 3 相 200V/50Hz 又は 3 相 200V/60Hz

定格消費電力:17kW(電気・電気/蒸気)/9.5 kW(蒸気)

<保護>

電撃に対する保護の形式: クラス I

エンクロージャによる保護等級: IP 54 (制御キャビネット)

<その他>

安全に関する規格: EN 61010-1 及び 61010-2-040

性能に関する規格: EN ISO 15883-1 及び 15883-2

EMC に関する規格: EN 61326-1

音響放射: 62dB(A)

入出力: イーサネット

<作動・動作原理>

本体に内蔵したポンプにより洗浄水を循環させ、ノズルから噴射し、ラックにセットされた被洗浄物を洗浄する。また、内蔵したヒーターにより洗浄水を加熱し、熱水消毒する。

カラータッチディスプレイにより選択したプログラムに従い、洗浄剤による洗浄、すすぎ、熱水消毒、乾燥を行う。

【使用目的又は効果】

<使用目的>

本品は、再使用可能な手術器具、麻酔器具、手術用靴、及び他の手術用具の(化学的又は加熱)除染・消毒のために用いる洗浄器である。乾燥機能を内蔵している。

【使用方法等】

詳細は取扱説明書をご参照ください。

<推奨洗浄剤[製造メーカー推奨]>

洗浄剤メーカー名	洗浄剤名
Borer	Deconex TWIN PH10
Borer	Deconex TWIN ZYME
Borer	Deconex POWER ZYME
Borer	Deconex PROZYME ALKA-x

● 槽内照明について

洗浄槽内の LED ランプは、動作状態に応じて色が切り替わります。ランプの色は、ガラスドア越しに確認することができます。

- ・ 青：ラック投入可能
- ・ 青(点滅)：ラック取出し可能
- ・ 白：洗浄プログラム実行中
- ・ 赤：装置のエラー
- ・ 赤と青の点滅：アラーム(プログラム強制停止など)

● 槽内の点検

1. 槽内が清潔か点検してください。
2. 槽内フィルターを点検し、必要に応じて清掃します。
3. プログラムを実行する前に、毎回槽内のスプレーアームが自由に動くか点検してください。

● ラック、モジュールおよび被洗浄物の点検

1. バスケットが過度に搭載されていないか点検してください。
2. 全てのホースがしっかりと正しく接続されているか点検してください。
3. ホースがねじれていないか点検してください。
4. 使用されていない全てのルアーロックコネクタがブラインドキャップで塞がれているか点検してください。
5. ラック内の回転アームが自由に動くか点検してください。
6. ラックへの搭載が適切に行われているか点検してください(ラックの取扱説明書を参照してください)。

● ラックの投入

装置の仕様にに応じて、槽内への投入は手動、半自動(オプション)もしくは全自動(オプション)で行われます。

(半自動/全自動投入)

装置にラック投入用自動ロールコンベアが装備されている場合は、ラックは自動的に槽内へ送られます。

槽内への投入中に本体内蔵のバーコードスキャンシステム(オプション)によってプログラムが検知されます。検知が正常に行われると、装置が自動的に開始します。

バーコードがない、もしくは損傷している場合は、メッセージが表示され、プログラム選択を手動で行う必要があります。

(手動投入)

1. 装置のスイッチがオンであることを確認します。オフの場合は、投入側の電源ボタンを使用して電源をオンにします。
2. カラータッチディスプレイを操作し、投入側のドアを開きます。
3. バーコードリーダー(オプション)がある場合は、器材コードをスキャンしてください。
4. 搬送カート投入側の所定の位置に合わせ、搬送カートのロックレバーを作動させてください。(搬送カートのロックピンがロックされ、同時に搬送カートと槽内間の搬送経路が空くと、搬送カートは正しく接続されています。)
5. 搬送カートを軽く引っ張り、外れないことを確認してください。
6. ラックの取手を両手で持ち、ゆっくりとそれ以上動かない位置まで槽内へ押し入れます。
7. 投入側のドアを閉じます。(プログラムを開始前であれば、ドアは再び開けることができます。)
8. プログラムを選択し、スタートボタンを押します。
バーコードスキャンシステム(オプション)では、プログラムは自動的に選択され、開始されます

● ラックの取出し

- ・ 処理された後のラックは非常に熱い状態です。取出し時はラックに接触した際の熱から保護するため、保護手袋を着用してください。
- ・ 装置の仕様にに応じて、槽内からの取出しは手動もしくは自動(オプション)で行われます。
- ・ ラック取出し用ロールコンベア上への取出しの場合、ドアの開閉および傾斜板上への取出しは自動的に行われます。

(手動取出し)

- ・ 危険が発生した場合は緊急停止を押してください。(例えば、ラックの傾き、搬送カートの落下など。)
1. プログラムが正常に終了すると、取出し側のドアボタンが作動可能になります。
 2. 搬送カート取出し側の所定の位置に合わせ、搬送カートのロックレバーを作動させてください。(搬送カートのロックピンがロックされ、同時に槽内と搬送カートの間のラックの搬送経路が空くと、搬送カートは正しく接続されています。)
 3. 搬送カートを軽く引っ張り、外れないことを確認してください。

4. 装置にラック取出し用ロールコンベア(オプション)が装備されている場合は、コンベアが空いているか確認してください。
5. 装置の仕様によっては、ドアが自動的に開きます。自動的に開かない場合、ドアボタンを押してドアを開けてください。
6. ラックの取手を両手で持ち、搬送カートへ完全に取出します。

(自動取出し)

- ・ 取出し時に落下しないように、搬送カートは正しくロックしてください。
1. 搬送カートを取り出し側の所定の位置に合わせ、搬送カートのロックレバーを作動させてください。
搬送カートが正しく接続されていない場合、装置の安全装置が搬送ロールの操作を停止し、取出しは一時停止します。
 2. プログラムが正常に実行された後、ラックは自動的に搬送カート(またはラック取出し用ロールコンベア)上へ送られます。
 3. ラックの取手を両手で持ち、最後の数 cm を引いて搬送カートの上に取出します。
 4. ラックが完全に搬送カートに搭載されてから、搬送カートのロックを解除してください。
 5. 必要に応じて、取出し側のドアボタンを押して、ドアを閉じます。

(ドアの動作)

- ・ 取出し側のドアが閉鎖された場合
→投入側のドアを開くことができます。
- ・ 投入側のドアがまだ開いていない場合
→取出し側のドアを再び開くことができます。
- ・ 投入側のドアを1度でも開いた場合
→取出し側のドアはもう開きません。

● バッチプロセス文書化

プリンター(オプション)が接続されている場合、プログラムの実行後に処理結果がプリンターに出力されます。

● プログラムの中断

処理される器材類に使用されるべきではない、誤ったプログラム(例えば、器具や機材の損傷のおそれのあるもの、洗浄不良が発生するものなど)を開始させてしまった場合、プログラム中断ボタンを押してください。

1. プログラム中断ボタンを押します。
2. 中断を実行する前に、本当に中断すべきか確認する質問が表示されます。ここで「プログラム中断」を選択すると、プログラムは中断されます。
3. 槽内が完全に排水され、槽内の蒸気が排気システムへ排気された後、装置のシステムは安全な状態になります。
4. カラータッチディスプレイを操作し、装置のアラーム(槽内ランプ:赤と青の点滅)を解除します。

5. 投入側のドアを開けることが可能になります。

● プログラムの異常終了

1. プログラムの実行が正常に行われない場合、投入側のディスプレイに「プロセス失敗」と表示され、赤い槽内ライトが点灯します。
2. 投入側のドアは、開けることが可能になります。
(取出し側のドアは開きません。)
3. ディスプレイのステータスバーに、原因およびエラー番号が表示されます。
4. 取扱説明書を参照し、適切な措置を講じてください。

● ラックの返送

必要に応じて、搬送ロールを反対の方向へ制御し、ラックを元の位置へ返送することもできます。(例えば: ラックが傾いた、緊急停止が作動した後ラックが所定の位置にないなど)

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・ 処理された後のラックは非常に熱い状態です。取出し時はラックの熱から保護するため、保護手袋を着用してください。
- ・ 被洗浄物の構造、汚染の状態によっては、本機に入れる前に適度に前処理を実施して下さい。
- ・ 洗浄槽内の清掃等を行う際は、液体が跳ね返る可能性がありますので、必ず保護具を着用してください。
- ・ 洗浄剤を取り扱う際は、必ず適切な保護具を着用してください。
- ・ 製造元、供給元によりバリデーションされた洗浄剤以外を使用すると、装置の性能・機能を損なう可能性があります。
- ・ 洗浄剤を変更する場合は、エラストマー素材の部品(ホース、シール他)など、装置の全ての構成部品を交換する必要があります。また、洗浄剤を変更する前にシステムを完全に十分な量の流水ですすいでください。
- ・ ガラス部の清掃に、化学薬品を使用しないでください。

<不具合・有害事象>

以下の不具合・有害事象が発現する可能性がある。

(1) 不具合

- ・ 洗浄不良

(2) 有害事象

- ・ 清掃時の、薬液等の飛沫による手荒れや目の炎症
- ・ バーコードリーダー(オプション)のレーザー光を長時間凝視したことによる網膜の損傷

【保管方法及び有効期間等】

<動作環境>

周囲温度：50℃以下

<耐用期間>

10 年[製造メーカー認証]

（但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品の交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある）

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

- ・ 作業内容については、取扱説明書をご参照ください。
- ・ 清掃作業は、必ず本体を停止して実施してください。
- ・ 洗浄液の取り扱いや洗浄槽内の作業では、液体が跳ね返る可能性がありますので、保護具を着用してください。

毎日	✓ タンク及び洗浄槽のドレン(水抜き) ✓ 洗浄槽内の清掃(槽内フィルター及びスプレーアームを含む) ✓ ドアシールの点検及び清掃 ✓ ドア開閉機能のチェック ✓ ドアフォースリミッターのチェック ✓ 洗浄結果のチェック(目視) ✓ 乾燥結果のチェック(目視)
必要に応じ	✓ フロントパネルの清掃 ✓ 搬送カート・ラックの清掃
毎週	✓ 洗浄剤の残量点検 ✓ 一次側配管のトラップの清掃
毎月	✓ 水質のチェック
3 ヶ月ごと	✓ 内部(機械部分)の清掃 ✓ タンク類の清掃 ✓ 水漏れのチェック

<業者による保守点検>

- ・ 装置の性能維持のために、半年あるいは 1 年ごとに定期点検をご依頼ください。
(弊社又は販売店へご依頼ください。)
- ・ 洗浄剤ポンプのチューブは 1 年ごとの交換が必要です。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

株式会社ニチオン

千葉県船橋市栄町 2-12-4

TEL：047-431-1871

<製造業者>

エムエムエム・ミュンヘナー・メディツィン・メヒヤニーク社
(ドイツ)

MMM Muenchener Medizin Mechanik GmbH